

新型コロナワクチンを受けた後の注意点

**ワクチンを受けた後は、
15分以上は接種会場で
様子を見てください※。**



お待ちの間も、感染対策をお願いします。

(マスクをする、隣の人と距離をとる、会話を控えるなど)

※過去に急性のアレルギー反応やアナフィラキシーなどを起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。

接種日当日

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	頻度は極めてまれですが、強いアレルギー反応が起こって、息苦しさ、じんましんや顔面(唇やまぶた)の腫れ、嘔吐、血圧低下や意識障害などが起こる可能性があります。症状によっては、すぐにアドレナリン(エピネフリン)などの投与が必要になることがあります。
血管迷走神経反射	ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。倒れてケガをしないように、背もたれのあるイスに座って休みましょう。

〈ワクチンを受けた日の注意点〉

- 激しい運動は控えてください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしましょう。



数日

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

2人に1人以上	注射部位の痛み、疲れた感じ
10人に1人以上	頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛、発熱、注射部位の腫れ
10人に1人未満	注射部位の赤み、吐き気、だるさ、リンパ節の腫れ

コミナティ®添付文書より改編

- これらの症状の大部分は、軽度~中等度であり、接種後数日以内に回復しています。
- 疲れた感じや関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
- だるさや発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
- 接種後に気になる症状が現れた方は、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に、健康に異常があるとき	➔ ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、市町村や自治体の窓口
ワクチン接種方法等について困ったことがあるとき	➔ お住まいの市町村

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が、極めてまれではあるものの、なくすことは出来ないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます※。

申請に必要な手続きなどについては、予防接種を受けられた市町村にご相談ください。

※その健康被害が、接種を受けたことによるも野であると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定に当たっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。

ワクチンは2回接種します

●1回目の接種の方へ

- ・ワクチンの効果を十分得るために、同じ種類のワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。
- ・2回目の接種は、本日（1回目）から通常3週間空けて、できるだけお早めに受けてください。
- ・2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関や市町村の案内をご確認ください。
- ・接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種を受けない方が良いこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうか、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

●2回目の接種の方へ ワクチン接種はこれで終了になります。



新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。